

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	農業関連負担金事務		コード	担当課係
			04-01-01-07	農林振興課管理係
事業実施期間			担当者	坂田圭弘
			電話	0869-64-1831
総合計画 事業（政策）体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目	農業		
	施策	農業基盤の整備		

事業について	
目的	農業振興等を図る各種団体との連携の強化
対象 (誰のために)	各種団体
内容	農業振興等を図る各種団体を支援

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
市農業技術者連絡協議会負担金	20,000 円
和気農業技術者連絡協議会負担金	39,000 円
全国中山間地域振興対策協議会会費	20,000 円
県ふるさといき推進協議会負担金	50,000 円
県農業開発研究所賛助会費	30,000 円

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,506	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,440	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,946	市債		合計	0	市債	
			一般財源等	2,946			一般財源等	0

必要人員	0.15	人
結果指標名	対象団体数	
結果指標量	12	
単位	団体	
対前年比	—	0.00%
事業費	2,946,000	円
単位当たりコスト①	245,500	円

結果指標名	
結果指標量	
単位	
対前年比	—
事業費	円
単位当たりコスト②	円

事業の成果			
成果指標名	対象団体数	式又は説明	—
成果指標量	17年度		
対前年比	12		0.00%
到達目標値	各種団体の活動内容等を精査し、適正な団体に対して支援を行う為、到達目標値は設定できない。	到達目標年度	—

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	各種団体の活動内容等を精査し、対象団体の見直しを検討する余地がある。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	対象団体の見直しを検討することが、コスト削減にもつながる。
	手段の最適化	
有効性の評価	市民の関与の妥当性	各種団体との連携を図る上で、事業実施は妥当であるが、実施方法等については検討の余地がある。
	職場の効率化	
総合評価	目的達成度	評価区分 <A~E> C
	成果向上の可能性	
今後の方向性	市民参画度	各種団体との連携を密にしていける上では有効であるが、対象団体については活動目的、内容等を十分に精査する必要がある。
	コメント	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	各種団体との連携を密にしていける上では有効であるが、対象団体については活動目的、内容等を十分に精査する必要がある。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	結果指標量
各種団体の活動内容等を精査し、適正な団体に対して支援を行う為、到達目標値は設定できない。	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	対象団体の活動内容等の精査	毎年度	適正な事業の運営